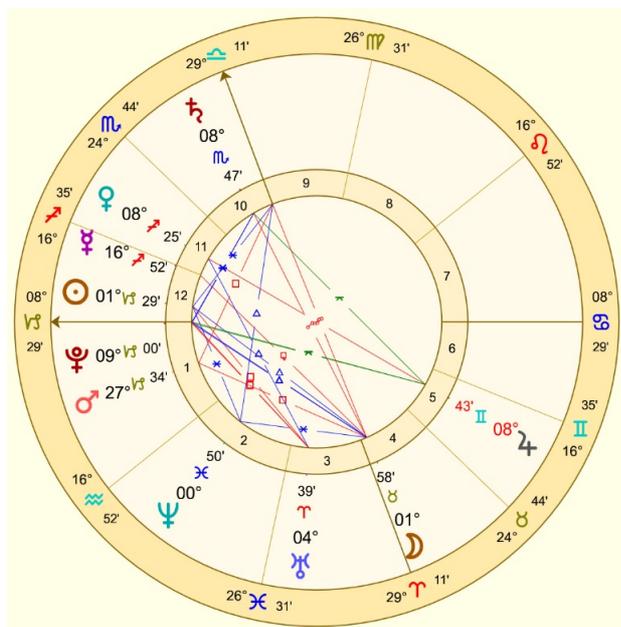


鑑定結果

「あなたが生まれた時の星の配置」は以下の通りです。まずはどの星がどの星座にあるかで読んでいきます。



Birth Data : 2012/12/23 7:22 日本 東京

<個人天体>

火属性：2つ
地属性：3つ
風属性：一
水属性：一

<天体全部>

火属性：3つ
地属性：4つ
風属性：1つ
水属性：2つ

活動宮：2つ

不動宮：1つ

柔軟宮：2つ

活動宮：4つ

不動宮：2つ

柔軟宮：4つ

<総括>

全体的に地属性の力が強く、火属性が少々です。
活動宮が強めなので割と活動的です。

☉ 太陽 山羊座(地属性の活動宮)

太陽の星座は成熟した時の自分や、自分が本領発揮した時の個性、全体の中心となる人生の目的が表れます。
全体の中心として、真面目で活動的な性格を基本としています。
少々自由人な所もあるでしょうけど、地に足を着けていく方向におおむね向かいます。

☾ 月 牡牛座(地属性の不動宮)

月の星座は子供の頃の自分や、表面的に持つ個性、感情の働き方が表れます。
目的としては活動的ですが、感情はあまり動かたがらないことがあります。
子供の時はのんびりめで、美味しいものが好きだったり、五感が楽しめるものが好きだったでしょう。

♃ 水星 射手座(火属性の柔軟宮)

水星の星座は理知的な社交傾向や、仕事運などが表れます。自分が主体性を発揮した時の個性でもあります。
射手座なので交友関係は自由度が高いです。
真面目な性格の一方で、変わりものの友人を好む所があるでしょう。

♃ 金星 射手座(火属性の柔軟宮)

金星の星座は愛情傾向や恋愛運などが表れます。コミュニティを生きる上での自分の個性でもあります。
水星と同様に射手座なので、こちらも交友関係に自由さを求めるでしょう。
友人関係と同様に、恋人関係も変わりものを好む所があるでしょう。

♂ 火星 山羊座(地属性の活動宮)

火星の星座は他者に勝利するための闘争的な性格傾向が表れます。したがって、仕事運なども表れます。
太陽星座と同じく真面目な山羊座です。山羊座は仕事に向いている星座なので、仕事人間になる傾向があります。
ライバルと仕事を競う場面もありそうです。仕事であちこち出かけることは好きそうです。

♊ 木星 双子座(風属性の柔軟宮)

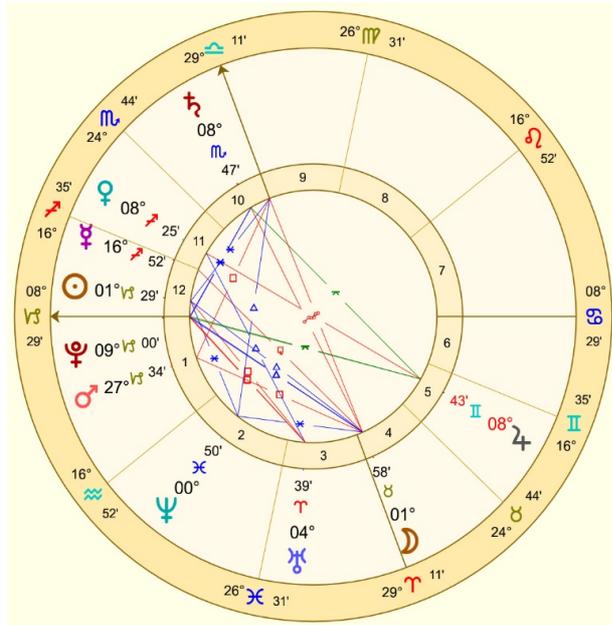
木星の星座は成功や幸運を掴むためのヒントとなる性格が表れます。
双子座なので、言葉を上手く使ったコミュニケーションで交友関係を増やすことが成功の鍵になりそうです。
※動きが遅いので、約1年ほど同じ星座にいます。

♄ 土星 蠍座(水属性の不動宮)

土星の星座は自分自身の試練として立ちはだかる問題が表れます。
自分を振り返って深く考え込むことや、一つのことをやり込むことが必要になる時が来るかもしれません。
※動きが遅いので、約2年半ほど同じ星座にいます。

鑑定結果、その2

次は「ハウス（室）」という場所がどうなっているかを見たり、星同士の関係（アスペクト）を見ていきます。



<アセンダント> 山羊座
<MC> 天秤座

<各ハウス[1~12]にある惑星>
12室に太陽、水星
1室に火星、冥王星
4室に月
11室に金星
5室に木星
10室に土星
3室に天王星
2室に海王星

<1つのハウスに星が3つ以上ある場所>
なし

アセンダント	山羊座(地属性の活動宮)
アセンダントは「人からどう見られているか」の傾向が表れやすく、本人の個性がよく表れる星座です。太陽星座と同じく山羊座なので、自分がやりたいこととも一致していて、キャラクター形成が一貫しています。	

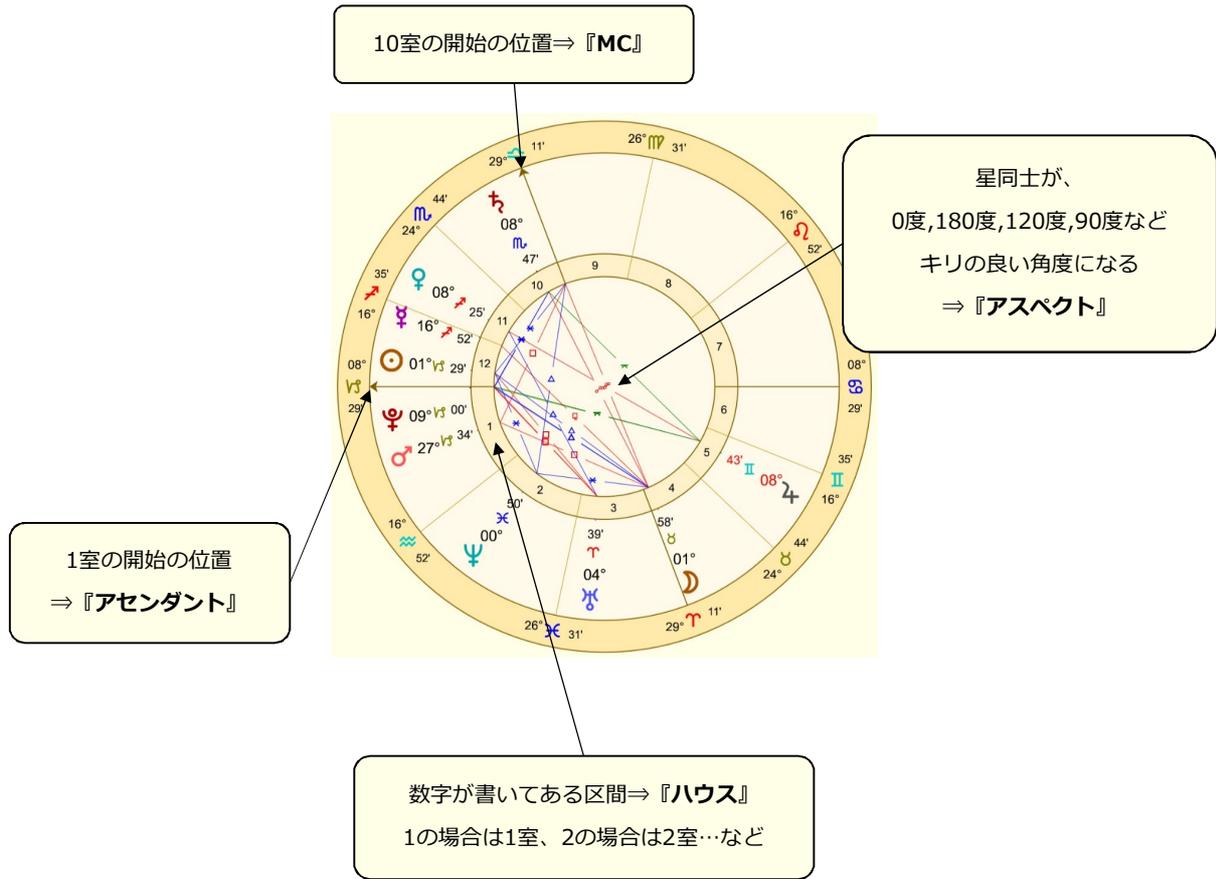
MC	天秤座(風属性の活動宮)
MCは「社会的にどういう役割を持っているか」が表れるので、向いている職業が分かります。天秤座なので、誰とでも公平に話すような職業や、全体のバランスを取るような役割の仕事と縁があります。	

ハウスから読み取れること
まず、全体の中心である太陽は12室にあり、これはとてもマニアックな集まりや隠れた集まりを表すので、性格が真面目である一方で、普通とは違う集まりと縁があり、そちらに行った方が精神的に充足しそうです。1室の冥王星と火星があるので、身体が自慢であり、身体の強さを生かして活動的であると良いでしょう。あとは、月が4室にあるので家庭への関心があります。11室に金星があるので、これもまた変わった集まりを好みます。恋人もそこにいるかもしれません。5室に木星があるので、趣味から成功に結びつくことがありそうです。10室に土星があるので、何かしらのことを長く続ける職業が良さそうです。一つのハウスに3つ以上星が入っていることがなく、全体的にバラついているので、多様な面があります。

アスペクトから読み取れること
まず、太陽と月が綺麗な120度なのが特徴的です。どちらも地に足の着いた地属性なので、幼い時から成長していくにつれてそこまで葛藤は無かったのでその面では順調でしょう。金星と木星が180度にとっても近いです。これは、理屈と直観でどちらを信じた方が良いかで迷いそうな形です。恋愛から結婚への移行に関しては、一応、理屈の方を信じた方が良いという結果になっています。太陽と天王星が90度にこそそそ近いです。天王星はテクノロジーやITとも関係がある、変革をもたらす星です。とても斬新で先鋭的な思想と、折り合いをつけるのに少し苦勞をするかもしれません。そういうのと距離を取るのもありだし、発想を取り入れるためにぶつかってみるのもあります。ただ、金星と天王星は120度に近いので、愛情をもって向き合ってみると、意外と馴染むことがありそうです。

あなたの物語を知るためのヒント
基本的に地に足の着いた地属性の力が非常に強い中で、交友関係を通じて変わった人と縁がありそうです。多様な属性を持っているというより、地属性の力が一貫してるので、社会的には真面目に無難に生きつつも、変わった人達と付き合い合うことで、刺激的なことが出てくるでしょう。世の中の裏側みたいなものとは縁があります。社会には考え方の違う人が多くいるので、それを知っていくことが学びになるでしょう。

用語説明



1 2 星座一覧	
♈	牡羊座 (火属性の活動宮)
♉	牡牛座(地属性の不動宮)
♊	双子座(風属性の柔軟宮)
♋	蟹座(水属性の活動宮)
♌	獅子座(火属性の不動宮)
♍	乙女座(地属性の柔軟宮)
♎	天秤座(風属性の活動宮)
♏	蠍座(水属性の不動宮)
♐	射手座(火属性の柔軟宮)
♑	山羊座(地属性の活動宮)
♒	水瓶座(風属性の不動宮)
♓	魚座(水属性の柔軟宮)

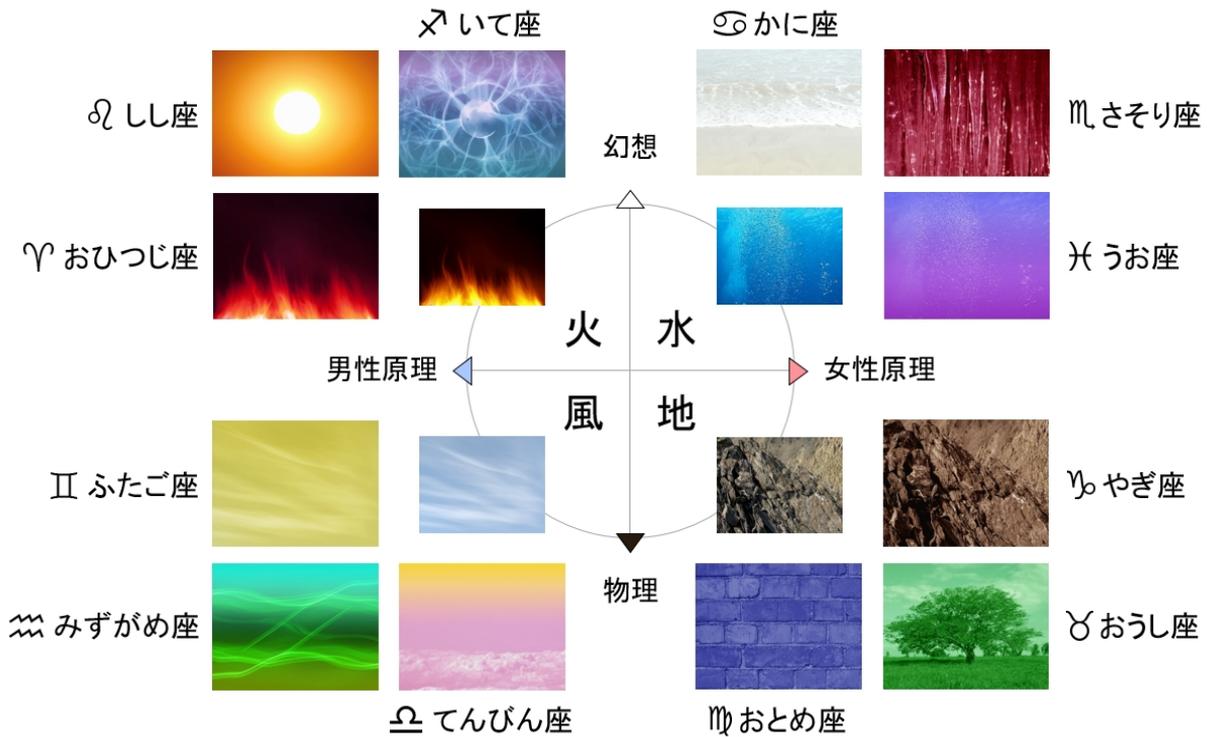
『4属性』
1 2 星座が持っている属性。 「火・地・風・水」の4つがある。
火属性：牡羊座・獅子座・射手座
地属性：山羊座・牡牛座・乙女座
風属性：天秤座・水瓶座・双子座
水属性：蟹座・蠍座・魚座

『3区分』
1 2 星座が持っている区分。 「活動宮・不動宮・柔軟宮」の3つがある。
活動宮：牡羊座・山羊座・天秤座・蟹座
不動宮：獅子座・牡牛座・水瓶座・蠍座
柔軟宮：射手座・乙女座・双子座・魚座

『個人天体』
「太陽」「月」「水星」「金星」「火星」の5つの星。 進行速度がそこそこの速さなので、 個人的な性格を見るのに向いている。

『トランスサタニアン』
「♆ 天王星」「♇ 海王星」「♁ 冥王星」の3つの星。 土星より遠い位置にあり、特別視されている。 進行速度がとても遅いことを考慮する必要がある。

4属性について



4属性とは？

西洋で伝えられている四大元素（火・地・風・水）が発端となる4つの属性。

紀元前5世紀頃の古代ギリシャから四大元素説が提唱されていて、プラトンの哲学や錬金術でも扱われる中、西洋占星術でも使われるようになる。

20世紀頃から、カール・G・ユングによる『タイプ論』と絡めて扱われるようになり、ユングが提唱した「直観タイプ・感覚タイプ・思考タイプ・感情タイプ」の4タイプが、それぞれ「火・地・風・水」に対応していると考えられるようになる。

したがって、「火属性：直観を重視」「地属性：感覚を重視」「風属性：思考を重視」「水属性：感情を重視」・・・というようにも解釈されている。

火属性

牡羊座、獅子座、射手座が該当する。

直観をつかさどる。

「理想⇔現実」だと理想重視、
「攻め⇔守り」だと攻め重視の性格。

創造と破壊の性質を持つ「火」の性格は、既存の価値観に疑問を持ったり、理想を追求し、新しい価値観を作り出す能力を持つ。社会の裏をかいた方が活躍する非常識人タイプ。芸達者な人に多い。

地属性

山羊座・牡牛座・乙女座が該当する。

感覚や経験をつかさどる。

「理想⇔現実」だと現実重視、
「攻め⇔守り」だと守り重視の性格。

人間社会は、まずは「土地」や「物資」が大事であり、「自然にあるもの」を扱っていく必要があるが、そうしたものと適応して地に足をつけて生きるのが得意。社会適応をそのまましていくと有利な常識人タイプ。実務能力の高い人に多い。

風属性

天秤座・水瓶座・双子座が該当する。

思考をつかさどる。

コミュニケーション重視の属性であり、人と人を繋げる役割を持つ中で、言語や理屈といったものとの結びつきが強い。

「理屈⇔感情」だと理屈を優先する。
「科学⇔宗教」だと科学の方に縁がある。

人間関係の構築において、感情による一体感を求めない。したがって、根はドライな印象がある。

水属性

蟹座・蠍座・魚座が該当する。

感情をつかさどる。

コミュニケーション重視の属性であり、人と人との関係を緩やかにする役割を持つ中で、人の心や感情との結びつきが強い。

「理屈⇔感情」だと感情を優先する。
「科学⇔宗教」だと宗教の方に縁がある。

人間関係の構築において、感情による一体感を求める。したがって、ウェットで人情家な印象がある。

西洋占星術とは何か？



■星を使った占い

「西洋占星術」とは何か？ 「占星術」という名称の通りに単純に言うと「星を使った占い」ということになり、自分が生まれた時の星の配置や、現在の星の配置などから、自分の性格や現在の状況を占ったりすることができます。よく普及している星座占いだと、例えば、3/21から4/19までの生まれの場合は「牡羊座」というように言われますが、プロが使うような占いは生年月日が一日違うだけで結果が違う高度なものになります。

占星術では以下の10の星を主に使います。

「太陽」「月」「水星」「金星」「火星」「木星」「土星」「天王星」「海王星」「冥王星」。

これら以外の小さな恒星を使うこともあります、主要となるのは10の星です。

これらの星が地球から見て360度のどの位置にあるか？といったことを見て占うことができます。

出生時点の星の配置から本人の性格や運命を読み取る技法は「ネイタルチャート（出生図）」と呼ばれます。

その他に、出生時点から特定の規則で時間を進める「プログレスチャート（進行図）」や、

現時点の星の配置から現在の状況を読み取る「トランジットチャート（経過図）」といった様々な技法があります。

■「生年月日+出生日時」から性格や運命を読み取る技術

今回使ったのは「ネイタルチャート（出生図）」による占いです。生まれた時の星の配置で占います。

図の中にある360度を30度ずつ区切ったのが「星座」であり、「牡羊座」から始まって「魚座」までで12の星座があります。

また、12の星座にはそれぞれ「火・地・風・水」の4つの属性があります。

例えば、火属性は「牡羊座・獅子座・射手座」の3つです。「地・風・水」の属性を持つ星座も同様に3つあります。

そして、「太陽」から「冥王星」までの10の星が、どの星座のどの位置にあるかに着目して占っていきます。

加えて、出生日時が分かることによって「ハウス」という12区分が分かるようになります。

これは占星術独自の技法のようなもので、「ハウス」という12に分けられた区間の中にどの惑星があるか、

どのハウスにどの星座があるか、といったことを見ることでより具体的な結果を占うことができます。

さらに、星と星が形成している角度で占うこともできます。例えば、星同士の角度が120度だと良い関係を作りやすいけど、90度だとぶつかりやすく、0度の場合はパワーが強まる・・・などがあります。これを「アスペクト」と言います。

西洋占星術は、主に「惑星・星座・ハウス・アスペクト」の4つの概念を使って占っていきます。

■古代の天文学と哲学

西洋占星術は、元々「アストロロジー（占星学）」と呼ばれているものです。これは星の学問全般を指していて、西洋占星術における「占い」は「アストロロジー」の一つの側面に過ぎません。

占星術が発展していた古代ギリシャのあたりでは、天文学や星にまつわる哲学・神学などが一体となっていて、その派生として「占い」が出てきて、それが現在にも伝わるようになりました。

占星術の歴史をたどると紀元前2000年ぐらいのバビロニアにまでさかのぼりますが、

紀元前4世紀頃からの古代ギリシャで大きな盛り上がりがあります。当時は「天動説」が常識とされていたため、

「星」を神聖なものとして見る世界観があり、「星」をベースにした壮大な哲学や神学が研究されていました。

そうしたものがヨーロッパや中東の方で残っていった様々な紆余曲折があり・・・現在のようになりました。

一般的に「～座のあなたは」と言って普及している占いは、太陽の位置で占っているので「太陽星座占い」に該当します。

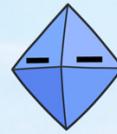
これが出てきたのはおよそ19世紀末頃からであり、「現代占星術」と呼ばれるものもその辺りから確立していきました。

このように、大衆化されて流行しつつも、元々は奥深い古代哲学から派生しているものが西洋占星術です。

筆者ブログ

哲学思考のなれの果て

URL:<https://raimospace.com/blog/>



サイキック研究とか、占星術とか、ニューロロジーとか、神秘思想いろいろ

『哲学思考のなれの果て』というブログを書いているのでよろしくお願ひします。

URL <https://raimospace.com/blog/>

以下、占星術に関する記事が書いてあるページや、自分が作ったものを紹介します。

◆はじめての人でもホロスコープを自分で読めるようになるための記事

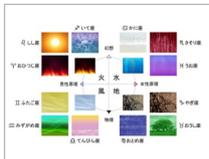
URL <https://raimospace.com/blog/astrology-beginner/>



「占星術がはじめての人でも、まずは簡単にホロスコープが読めるようになること」を目的とした記事です。この鑑定で占星術に興味を持ち、自分でホロスコープを読みたいと思った方は読んでみてください。

◆西洋占星術関連のページ

URL <https://raimospace.com/blog/astrology-page/>



当ブログの中で占星術に関連する記事を集めたものです。

1 2 星座や惑星のイメージを写真加工アートで表現したものなどがあります。

◆アストロロジーたん (@astrology_tan)

URL https://twitter.com/astrology_tan



西洋占星術（アストロロジー）に関することをつぶやくTwitterのbotです。

決まったツイートを順番にしていく仕組みで、占星術の基本となる概念の説明を一通り網羅しています。

◆サイキックの研究と分析

URL <https://raimospace.com/blog/psychic-page/>



「実際に存在するサイキック（超能力）とは何か？」というテーマから、神秘思想や量子力学など幅広く扱うシリーズです。占いや占星術もサイキックの一種のようなものなので、興味のある方は読んでみてください。